

伊賀市 事務事業事前評価シート

新規・施設の管理・運営

コード	名 称
事業名	2040 入交家住宅維持管理経費
基本施策	36 歴史や文化を守り、未来へと引き継ぐ

担当部課名	生涯学習課文化財室
作成者氏名	中川 秀也
連絡先	22 - 9681(内線3840)

事業の計画・内容

設置目的	対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)
	・三重県指定有形文化財(建造物)入交家住宅 ・市民及び観光客	・適正に管理され、保存される。 ・訪れる。生涯学習に役立つ。
本年度事業内容	平成18年8月1日から施設設備の維持管理、参観料・使用料の徴収事業を行う。	
運営主体	直営 指定管理 民間委託等 (委託先:(財)伊賀市文化都市協会	根拠法令・要綱等 入交家住宅の設置及び管理に関する条例
市内の類似施設	史跡旧崇廣堂・名勝及び史跡城之越遺跡・旧小田小学校本館・上野歴史民俗資料館	

投入資源

		H18	H19	H20
投入人員	正規職員 (人)	0.5	0.2	0.2
	人件費合計(A)	3,600	1,440	1,440
支出内訳(千円)	事業費(B)	2,961	4,640	4,640
	委託料	2,961	4,640	4,640
	その他			
	合計(A+B)	6,561	6,080	6,080
財源内訳(千円)	特定財源			
	国県支出金			
	地方債			
	受益者負担			
その他特財				
一般財源	6,561	6,080	6,080	
上記 ~ に関する特記事項				

活動指標

活動指標	単位	目標値	
		平成 19 年度	
利用者延べ人数	人	200	
参観者延べ人数	人	2000	

評価指標

事業の目的の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	H19目標値
利用人数・参観人数	市民や観光客が生涯学習に役立てる	人	2200

評価	必要性	4	三重県指定有形文化財(建造物)入交家住宅を後世に守り伝えていく。
	有効性	3	市民や観光客が生涯学習に役立てる。
	効率性	3	施設設備の維持管理と市民・観光客の利用ができる。

総合評価

A